

2021年4月28日

本多通信工業株式会社

取締役会の実効性評価

当社は「常に最適なコーポレートガバナンスを追求し、その充実に継続的に取り組む」とした基本方針に則り、「取締役会の実効性」を自己評価しました。把握できた課題の改善により、引き続き、取締役会の意思決定機能及び監督機能の向上を図ってまいります。

1. 評価の方法

- ① すべての社外役員(5名)を中心とした意見交換会にて、評価項目を協議し、取締役会の賛同を得て、全取締役・全監査役を対象にアンケートを実施しました。
- ② アンケートは、“取締役会は意思決定機関として役割・責務を実効的に果たしているか”等の設問に対し、求められる水準に照らして、“十分、満足”から“不足”までの5レベルで評価し、その判断理由を記す内容です。
- ③ 取締役会にて、本アンケートの集計結果に基づいて、当社の取締役会の実効性を自己点検するとともに、課題を抽出し、今後の取組みを明確化しました。

2. 評価結果

- ① 今年度は、前社長が急逝するといった不測の事態となりましたが、以前から緊急事態を想定した対策を協議していたこともあり、取締役会として、その責務を実効的に果たすことができました。
また、コロナ禍における取締役会の運営として、オンライン方式（リモート会議）を導入し、タイムリーな議論と対応ができました。
- ② 環境が激しく変化する中で、中長期課題に関しては、従前より活発な議論がなされましたが、まだ十分な時間を割くには至りませんでした。

3. 今後の取組み

有事における喫緊のテーマだけでなく、持続的な成長と中長期的な企業価値向上のために、経営戦略や経営課題の議論をより一層深めてまいります。

以上